

○第10回神戸圏域圏域地域医療構想調整会議地域包括ケア推進部会 開催結果

圏域名	神戸圏域
日時	2023年8月24日（木曜）13:30～15:30
場所	三宮研修センター 505会議室（Web併用）
司会	神戸市医療監 北 徹（会長） 神戸市健康局部長 梅永 司（事務局）
出席者	委員18名のうち17名出席（うち、現地参加12名 Web参加5名）
議事次第概要	（1）地域医療介護総合確保基金（医療分）にかかる令和6年度提案事業及び実施状況について （2）「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について （3）介護予防に関するワーキングについて
内容	（1）地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について、令和4年度の実施報告及び令和6年度の事業提案内容を、事務局及び提案団体より説明 （2）神戸市における「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」（＝にも包括）の取り組みについて、事務局より説明 （3）介護予防の取り組みが効果的に実践できているかを多角的評価するためのワーキング立ち上げについて、事務局より説明
主な質疑応答	<p>（1）地域医療介護総合確保基金（医療分）にかかる令和6年度提案事業及び実施状況について</p> <p>○東灘区歯科医師会の提案事業について、訪問診療はどれくらいの先生が現在行かれているのか。この事業でどれだけ実施できる先生が増えそうなどの見込みはあるか。（委員）</p> <p>→当初通院患者で、在宅に移行したときの数は分からないが、初診から在宅診療可能な先生は10名いるかいないかくらい。東灘区歯科医師会は150名であるため、30～40名くらいは行けるように増やしたい。坂の多い町であり、通院が大変な方へのフォローアップが必要と考えている。（提案者）</p> <p>○神戸在宅医療・介護推進財団の提案事業について、生活の支援、特に食事や栄養管理も大事なのではないかと思うが、栄養の管理も含めた介護職の方への勉強会も将来的には実施する予定か。（委員）</p> <p>→多職種での連携や地域包括ケアの仕組みづくりが大切と考えている。リハビリに偏らず、色々実施していきたい。（提案者）</p> <p>○北区医師会の提案事業について、認知症も含めて精神疾患の方のフォロー体制はどうか。（委員）</p> <p>→一般病院に入院されている精神疾患の方は、高齢化社会ということもあり、慢性疾患の方が多く、何回も入院される。二次救急病院と精神科病院との相互協力が必要であり、リエゾン事業で連携している。（提案者）</p> <p>○神戸市歯科医師会の提案事業について、長田に（障害者対応の）歯科センターはあるが、病院との連携はしているのか。医療的ケア児</p>

	<p>への対応のニーズは。(委員)</p> <p>→西市民病院に繋げるかたちになっている。ニーズは分からないが、高齢者でも誤嚥性肺炎等が起こっており、それが子供にも起こりうるため、何かしらの対策は必要と考えている。(提案者)</p> <p>○垂水区歯科医師会の提案事業について、在宅の患者の方が訪問歯科診療をお願いするには、どのように相談すれば良いのか。(委員)</p> <p>→各あんしんすこやかセンターに垂水区歯科医師会の理事を中心に担当を決めており、連携している。依頼があれば、会員内で訪問診療できるかを確認できる体制。(提案者)</p> <p>○東灘区医師会の提案事業について、NST での取り組みの全国発信も良いが、他の区への展開はどうか。(委員)</p> <p>→須磨区の言語聴覚士もメンバーにおり、須磨区の病院でも使っていると聞いている。もっと他区に広げていきたい。(提案者)</p> <p>(2)「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について</p> <p>○新たな会議体を立ち上げるとのことだが、地域包括ケア推進部会との情報共有、連携は。地域包括ケア全体のなかに精神疾患の方もいる。(委員)</p> <p>→地域包括ケア推進部会とは一旦切れている形になり、議論は「にも包括部会」で完結する形であるが、情報共有は実施していく。(事務局)</p> <p>(3) 介護予防に関するワーキングについて</p> <p>○ワーキングメンバーに、通所サービスや会議予防サロンなど、実際にサービスを提供している事業所を入れてはどうか。(委員)</p> <p>→実際に(現場で) どういった変化で、どういった形で対応されているか、ワーキングメンバーの方も知りたいと思うので、検討していく。(事務局)</p>
次回以降の予定	未定